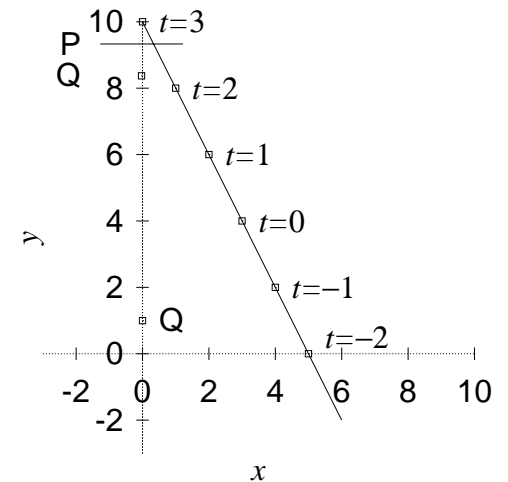


全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----

 更新 Time-stamp: "2005/06/05 Sun 15:04 hig"

## quiz 略解 7

- $\mathbf{r}_P(-2) = \begin{pmatrix} 5 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$
- $(x(t) =) -t + 3 = 0$  を解いて,  $t = 3$ .
- $\frac{-t-2}{2} = \frac{2t+4}{3} = 0$  を解いて  $t = -2$ .
- $(-t + 3) + 2(2t + 4) + 0 = 2$  を解いて  $t = -3$ .
- $x = -t + 3, y = 2t + 4$  から  $t$  を消去して,  $y = -2x + 10, z = 0$ . アニメ
- 距離の 2 乗は  $f(t) = 5t^2 + 6t + 18$ .  $f'(t) = 0$  を満す  $t = -\frac{3}{5}$  で最小になり, このときの距離は  $\sqrt{f(-\frac{3}{5})} = \frac{9}{\sqrt{5}}$ . あるいは平方完成を利用.



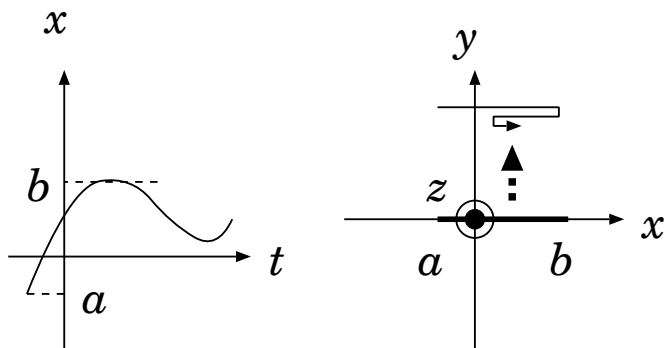
## 6. 速度ベクトルと加速度ベクトル

### 6.1 1次元の運動

$x$ -軸の式は  $y = z = 0$  だから,  $x$ -軸の上だけを運動する物体の位置ベクトルは,

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (69)$$

となり, ただ1つの関数  $x(t)$  だけで表わせる. このように, 位置ベクトルの1成分だけで表わせる運動を1次元の運動という. 以下, しばらく1次元の運動を考える



1次元の運動の  $t$ - $x$  グラフと軌跡の関係

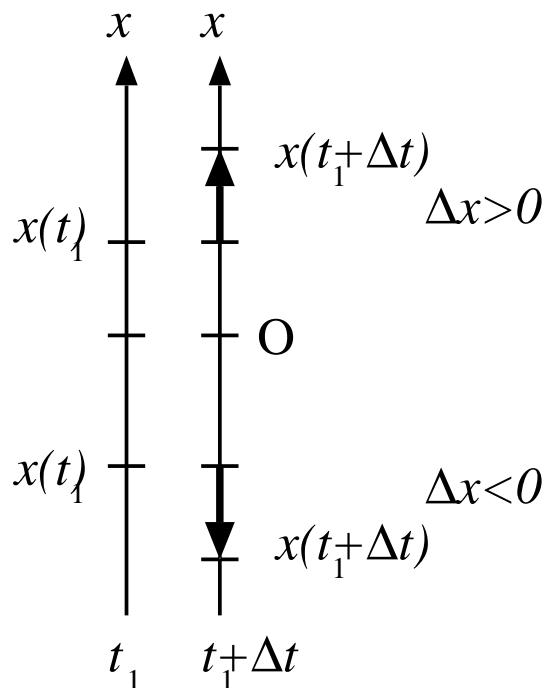
## 6.2 1次元の速度

香中 p.26

時刻  $t_1$  に座標  $x(t_1)$  にあった物体が, 時刻  $t_1 + \Delta t$  には座標  $x(t_1 + \Delta t)$  まで移動していたとする. 座標の差 (**変位**ともいう) は

$$\Delta x = x(t_1 + \Delta t) - x(t_1). \quad (70)$$

注:  $\Delta t$  は  $\Delta \times t$  じゃない.  $\Delta t$  (デルタティ) は短い時間を表わす変数.



関係

$$(\text{距離}) = (\text{速さ}) \times (\text{時間}) \quad (71)$$

から,

$$(\text{時刻 } t_1 \text{ から } t_1 + \Delta t \text{ までの平均速度}) = \frac{x(t_1 + \Delta t) - x(t_1)}{(t_1 + \Delta t) - t_1} = \frac{\Delta x}{\Delta t}. \quad (72)$$

瞬間の速度を求めるには,  $\Delta t \rightarrow 0$  の極限を考えればよい.

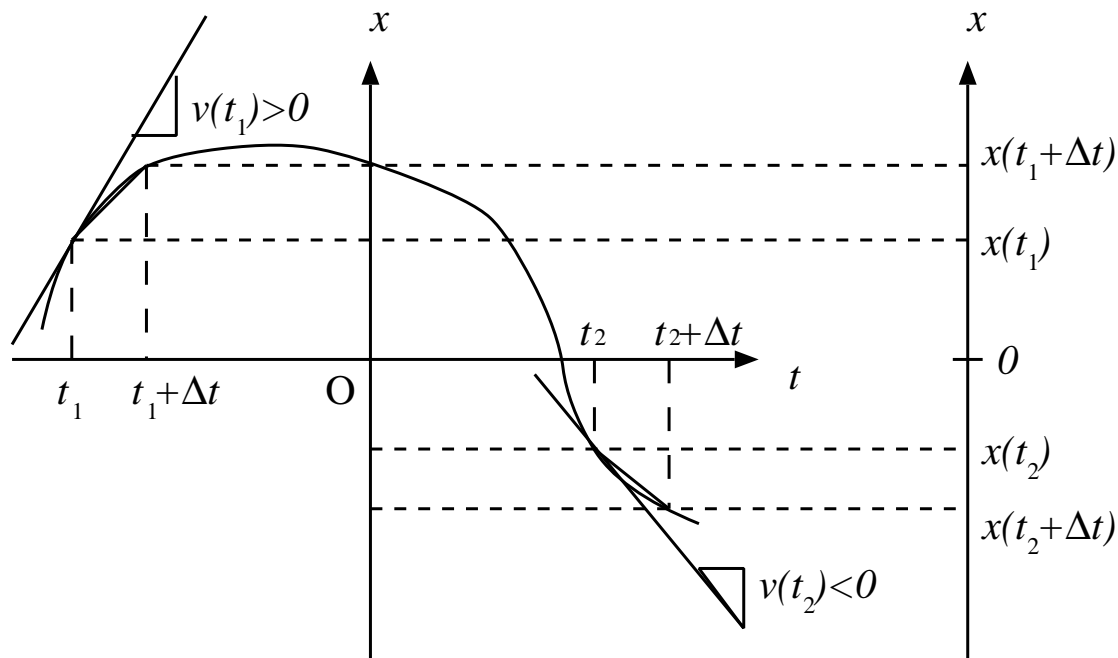
$$\text{速度 } v(t_1) = \frac{dx}{dt}(t_1) = \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\Delta x}{\Delta t}. \quad (73)$$

要するに, 座標  $x(t)$  の  $t$  についての微分 (導関数)  $v(t) = \frac{dx}{dt}(t)$  を時刻  $t$  における物体の **速度** という.

本や人によっては,  $\frac{dx}{dt}(t)$  を,  $x'(t), \dot{x}(t)$  などと書いてあることもある.

バックしてるときは 速度は 44 .

# 例 アニメ



速度  $v(t_1)$  は,  $t = t_1$  における  $x(t)$  の接線の傾き.

$v$	$t$ - $x$ グラフ	アニメ
$v > 0$	右上がり	45
$v < 0$	右下がり	46
$v = 0$	水平	47

## 6.3 1次元の加速度

香中 p.27

時刻  $t_1$  に速度  $v(t_1)$  だった物体が、時刻  $t_1 + \Delta t$  には速度  $v(t_1 + \Delta t)$  に変化していたとする。速度の変化分は

$$\Delta v = v(t_1 + \Delta t) - v(t_1). \quad (74)$$

関係 (変化率) =  $\frac{(\text{変化分})}{(\text{時間})}$  から、

$$\begin{aligned} & (\text{時刻 } t_1 \text{ から } t_1 + \Delta t \text{ までの速度の平均変化率}) \\ &= \frac{v(t_1 + \Delta t) - v(t_1)}{(t_1 + \Delta t) - t_1} = \frac{\Delta v}{\Delta t}. \end{aligned} \quad (75)$$

瞬間の変化率を求めるには、 $\Delta t \rightarrow 0$  の極限を考えればよい。速度の瞬間の変化率のことを

$$\text{加速度 } a(t_1) = \frac{dv}{dt}(t_1) = \frac{d}{dt} \left( \frac{dx}{dt} \right) (t_1) = \frac{d^2x}{dt^2}(t_1) \quad (76)$$

という. 要するに, **加速度** は速度の 1 階微分, 座標の 2 階微分.

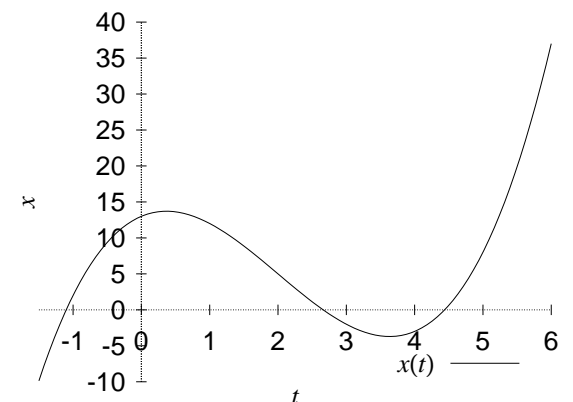
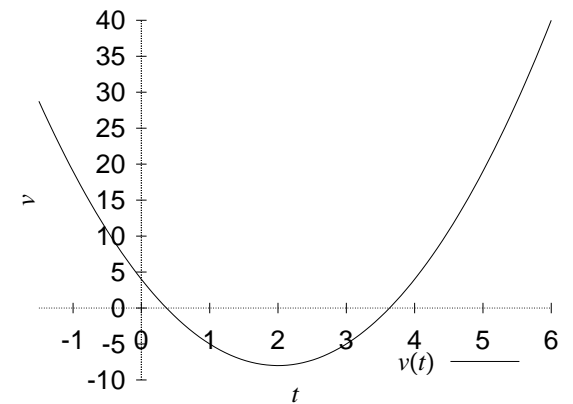
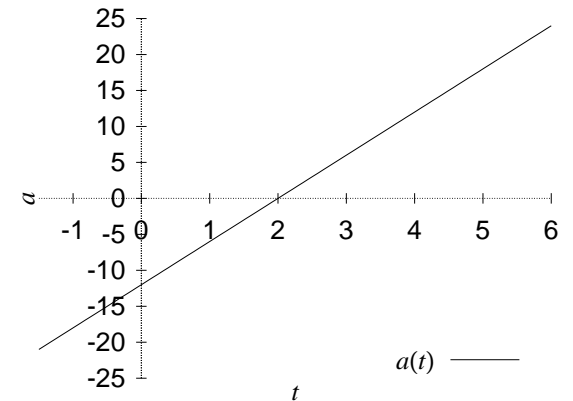
本や人によっては,  $a(t) = \frac{d^2x}{dt^2}(t)$  を,  $x''(t), \ddot{x}(t)$  などと書いてあることもある.

$a$	$t$ 対 $v$	$t$ 対 $x$	アニメ
$a > 0$	右上がり	48	速度増加
$a < 0$	右下がり	49	速度減少
$a = 0$	水平	50	速度一定

バックで加速してるときは 加速度

は 51 .

例 アニメ



再び, 3次元を運動する物体の位置ベクトル

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = x(t)\mathbf{i} + y(t)\mathbf{j} + z(t)\mathbf{k} \text{ を考えよう.}$$

## 6.4 速度ベクトル

香中 p.30

時刻  $t_1$  に位置ベクトル  $\mathbf{r}(t_1)$  にあった物体が, 時刻  $t_1 + \Delta t$  には位置ベクトル  $\mathbf{r}(t_1 + \Delta t)$  まで移動していたとする.

$$\Delta t \text{ 秒間の変位ベクトル } \quad \Delta \mathbf{r} = \mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1) \quad (77)$$

$$= (\Delta x)\mathbf{i} + (\Delta y)\mathbf{j} + (\Delta z)\mathbf{k} \quad (78)$$

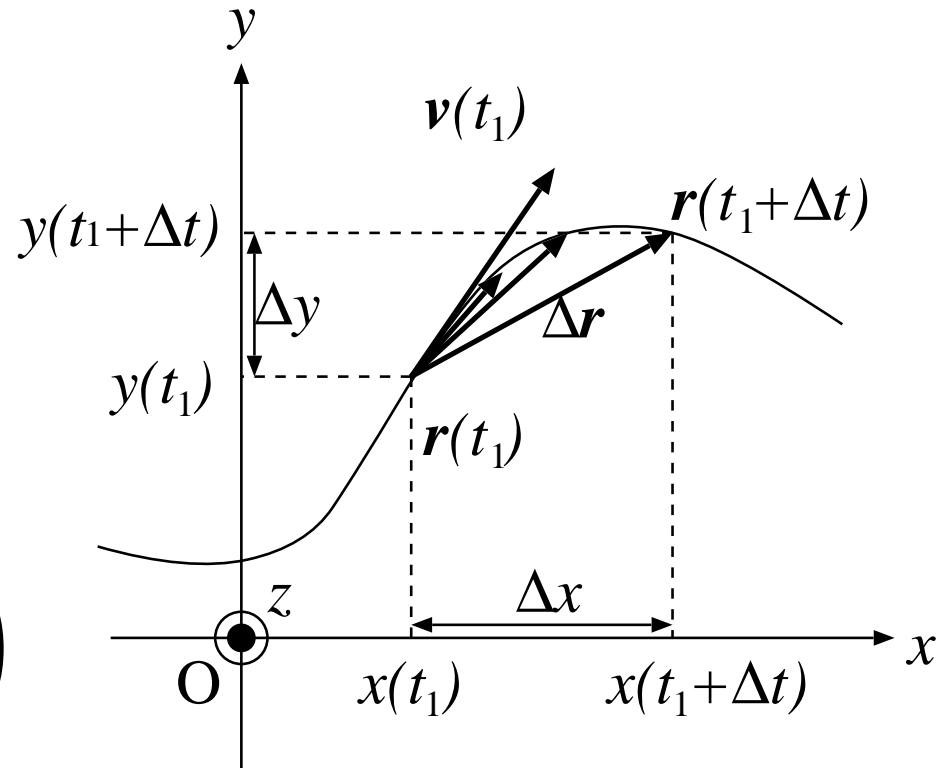
$$\Delta t \text{ 秒間の平均速度ベクトル } \quad \frac{\Delta \mathbf{r}}{\Delta t} = \frac{\mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1)}{\Delta t}. \quad (79)$$

$$= \frac{\Delta x}{\Delta t}\mathbf{i} + \frac{\Delta y}{\Delta t}\mathbf{j} + \frac{\Delta z}{\Delta t}\mathbf{k} \quad (80)$$



時刻  $t_1$  における (瞬間) 速度ベクトル  $\mathbf{v}(t_1)$  を求めるには,  $\Delta t \rightarrow 0$  の極限を考えればよい.

$$\begin{aligned}
 \mathbf{v}(t_1) &= \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{\mathbf{r}(t_1 + \Delta t) - \mathbf{r}(t_1)}{\Delta t} \\
 &= \lim_{\Delta t \rightarrow 0} \left( \frac{\Delta x}{\Delta t} \mathbf{i} + \frac{\Delta y}{\Delta t} \mathbf{j} + \frac{\Delta z}{\Delta t} \mathbf{k} \right) \\
 &= \frac{dx}{dt}(t_1) \mathbf{i} + \frac{dy}{dt}(t_1) \mathbf{j} + \frac{dz}{dt}(t_1) \mathbf{k} \\
 &= \begin{pmatrix} \frac{dx}{dt}(t_1) \\ \frac{dy}{dt}(t_1) \\ \frac{dz}{dt}(t_1) \end{pmatrix}.
 \end{aligned}
 \tag{81}$$



要するに成分ごとに微分すればおっけー.

一般に、時間の関数であるベクトル (ベクトル関数)  $A(t)$  があつたとき、

$$\lim_{\Delta t \rightarrow 0} \frac{A(t_1 + \Delta t) - A(t_1)}{\Delta t} = \begin{pmatrix} \frac{dA_1}{dt}(t_1) \\ \frac{dA_2}{dt}(t_1) \\ \frac{dA_3}{dt}(t_1) \end{pmatrix} \quad (82)$$

を  $A(t)$  の  $t = t_1$  における微分といい、 $\frac{dA}{dt}(t_1)$  と書く。

つまり、いまは  $v(t) = \frac{dr}{dt}(t)$ .

## 速さ

$$\text{時刻 } t_1 \text{ における速さ} = \left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t_1) \right|. \quad (83)$$

- はベクトル. 大きさと向きがある.
- はスカラー. 速度の絶対値. 大きさだけ.

## 速度ベクトルの性質

- 速度ベクトルの向きは  . (瞬間の向き)
- 速度ベクトルの大きさは, 速さに比例. (瞬間の速さ)
- 物体が静止  $\Leftrightarrow$  速度ベクトルが   $\Leftrightarrow$  速さが零.

## アニメ

## 6.5 加速度ベクトル

香中 p.30

$$\begin{aligned} \text{時刻 } t_1 \text{ における加速度ベクトル } \mathbf{a}(t_1) &= \frac{d\mathbf{v}}{dt}(t_1) \\ &= \frac{d}{dt} \left( \frac{dx}{dt}(t_1)\mathbf{i} + \frac{dy}{dt}(t_1)\mathbf{j} + \frac{dz}{dt}(t_1)\mathbf{k} \right) \\ &= \frac{d^2x}{dt^2}(t_1)\mathbf{i} + \frac{d^2y}{dt^2}(t_1)\mathbf{j} + \frac{d^2z}{dt^2}(t_1)\mathbf{k} = \begin{pmatrix} \frac{d^2x}{dt^2}(t_1) \\ \frac{d^2y}{dt^2}(t_1) \\ \frac{d^2z}{dt^2}(t_1) \end{pmatrix}. \end{aligned} \quad (84)$$

やっぱり成分ごとに微分すればおっけー. このベクトルを,

$$\mathbf{a}(t_1) = \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t_1) \quad \text{と書く.}$$

アニメ <http://hig3.net> > i/V/EZ アプリ > いろんな運動



## 例題 14

物体が,  $r(t) = \begin{pmatrix} t + \sin t \\ 2t + 2 \sin t \\ \sqrt{5} \cos t \end{pmatrix}$  で運動している.

1. 速度ベクトル, 加速度ベクトルを求めよう.
2. 静止する時刻を求めよう.
3. 速さが最大となる時刻を求めよう.

微分の計算方法忘れた人は **香中 2.2**, **微積分 2章,5章** で復習!

### quiz 8

物体 P が,  $r_P(t) = \begin{pmatrix} t^2 - 4 \\ -t^3 + 2 \\ -8t + 3 \end{pmatrix}$  で運動している.

1. P の速度  $v(t)$ , 加速度  $a(t)$  を求めよう.
2. P の速さが最小となる時刻を求めよう.
3. P の速さが最小である時刻における位置, 速度, 加速度を求めよう.
4. 物体 Q が

$$r_Q = \begin{pmatrix} t^2 - 4t \\ -t^3 + 2t \\ -8t \end{pmatrix} \quad (85)$$

で運動している. 物体 P と Q が最も接近する時刻を求めよう.



きょうのメッセージ

58

$$\frac{d}{dt} \mathbf{A}(t) = \frac{d}{dt} \begin{pmatrix} A_1(t) \\ A_2(t) \\ A_3(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{dA_1}{dt}(t) \\ \frac{dA_2}{dt}(t) \\ \frac{dA_3}{dt}(t) \end{pmatrix} \quad (86)$$

教科書のお奨め問題

例題 2.2(p.30), 香中 2.7 章末問題 2.1, 2.2,

講義のビデオ

UserID: Password:

科目のページ + リクエスト / 質問 / 苦情用掲示板



<http://hig3.net>

全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----